

# 彦根城(滋賀県彦根市)

築城年代:慶長8年(1603年)、築城者:井伊直継

内堀



表門橋から表御殿脇を登って来たところで、正面は天秤櫓/左手に廊下橋が見える





これが廊下橋/左手が金子丸、右手が太鼓丸/太鼓丸の更に右手が本丸



前方は天秤櫓(重要文化財)/金子丸から見たところ





これは太鼓門櫓(重要文化財)/太鼓丸から見たところ/この向こうが本丸



本丸から見る太鼓門櫓(重要文化財)





ここが本丸/前方が天守(国宝)



天守





左手から見たところ





こんな感じ





琵琶湖を望む



黒門橋へ下りる途上、天守を見上げたところ





パンフレットより





### 天守(国宝)

1

いくつもの屋根様式を巧みに組み合わせ、美しい曲線の調和をみせ、どっしりとした牛蒡積と呼ばれる石垣の上に三階三重の天守がそびえている。京極高次が築いた大津城から移築されたといわれ、慶長12年(1607)頃に完成した。天守の中に入れば、通柱のない造りや隠狭間など内部の細かな構造が見学できる。昭和27年国宝に指定され、姫路城・松本城・犬山城とともに国宝四城のひとつである。

### 西の丸三重櫓(重要文化財)

2

本丸の西側一帯を西の丸と呼び、その西の丸の一番はずれにあるのが三重櫓である。10m以上にも及ぶ高い石垣の上に築かれている。三重櫓の東側一帯は桜が植えられ、お花見のスポットとしても知られている。

### 太鼓門櫓(重要文化財)

3

本丸への最後の関門である太鼓門櫓は、東側の壁が無く、柱の間に高欄をつけ廊下になっている。登城合図用の太鼓の音を響かせるために考えられたのではないかといわれている。

### 天秤櫓(重要文化財)

4

表門から坂を上がって行くと廊下橋(非常時には落とし橋となる)が見える。この橋を中央にして建てられているのが天秤櫓である。まるで天秤のような形をしているところから天秤櫓と呼ばれている。日本の城郭でこの形式のものは彦根城だけである。

### 二の丸佐和口多間櫓(重要文化財)

5

佐和口に向かつて左翼に伸びる白壁の櫓。明和4年(1767)に火災で類焼し、現在の建物は明和6年から8年にかけて再建されたもの。

### 馬屋(重要文化財)

6

元禄時代に建てられ、常に十数頭の藩主用の馬が繋がれていた。昭和43年に解体修理され、こけしや書きの屋根が美しい。城内

### 表門橋

7

明治初期の写真や当時の文献を参考に、3年の歳月をかけ平成16年2月、現代に蘇った。

### 玄宮園(名勝)

8

城の北東にある大名庭園で、中国の瀟湘(しょうしょう)八景にちなんで選ばれた近江八景を模してつくられた縮景園。第四代当主直興が延宝5年(1677)に造営した。毎年9月中「虫の音を聞く会」が催され、大名庭園ならではの秋が味わえる。

### 鳳翔台(茶室)

9

玄宮園内の築山に建つ趣のある建物。かつては、藩主が客人をもてなすための客殿であった。この鳳翔台から眺める玄宮園の美しさはすばらしく、庭園を鑑賞しながらの薄茶の味わいは格別である。(午前9時〜午後4時 ¥500 お菓子付)

### 埋木舎(月曜日定休)

10

井伊直弼が青春時代を過ごした館。徳川幕府の元老として幕末動乱期、開国の父となつた才能の礎はこの埋木舎で暮らした時代に培われた。(☎0749-23-5268)

### いろは松

11

表門橋に向かう中堀の沿道の松並木で、47本あったのでこの名が付けられた。現在は33本(補植12本)残っている。当時の面影が偲ばれる通りである。

### 時報鐘

12

城全体に響くようにと鐘の丸から移されたもので、今も定時に鐘がつかれ「日本の音風景百選」に選ばれている。幕末期により美しい音色にしようと大量の小判が投入された。また左手の聴鐘庵は茶屋として薄茶を楽しめる。(午前9時〜午後4時 ¥500 お菓子付)

-23-0001 ● 彦根城 ☎ 0749-22-2742 <http://www.hikoneshi.com/>

お問い合わせ ● 彦根市観光案内所 ☎ 0749-22-2954 ● 彦根観光協会 ☎ 074



参考ホームページ

<http://iyokakuzukan.la.coocan.jp/025shiga/022hikone/hikone.html>

<http://mizuki.my.coocan.jp/siga/hikone.htm>

<http://www.city.hikone.shiga.jp/0000003031.html>

<http://kankodori.net/japaneseculture/site/027/index.html>

<http://www.osumi.or.jp/sakata/kengai/hikonezzyou2.html>

